

## 郷土の伝統芸能を 自分たちの手で守り伝える



全校生徒の前で堂々と演技する生徒たち

## 「大名行列お奴」全校生徒に披露

笠松中学校

四月十一日の春まつりで「大名行列お奴」に出演した笠松中学校の生徒六十二人が、翌十二日に同校体育館でお奴の演技を全校生徒の前で披露しました。  
これは、「郷土の伝統芸能を自分たちの手で守り伝えていこう」と練習を重ねた生徒たちを中心に、学校とお奴保存会が毎年行う行事です。堂々と演技を披露し、活気ある掛け声とともに毛槍や台傘の投げ渡しに成功する度に見学の生徒や先生たちから盛んな拍手が起りました。



2年生  
浅野 舞

練習では、手や足の動きが難しく、なかなか上手く踊れなかったけど、ベテランの人に教わりながら楽しく出来たし、本番へ向けて気合いが高まりました。当日、初めは少し緊張したけど、台傘を上手く飛ばせた時に、見ている多くの人が拍手をしてくれて、大変うれしかったし、今までの練習の成果が出せたと思います。また来年も、お奴に参加したいです。



3年生  
葛谷元規

僕はお奴に参加して、本番に使う毛槍などが文化財でなく、一人ひとりの踊りが文化財であることを知りました。本番の時、槍の投げ渡しに成功すると周りのかたが温かい拍手をしてくれます。  
そんな姿を見ると、お奴を文化財として、伝統芸能として守り伝えようとする笠松町民の心を感じます。

## ●「大名行列お奴」に参加して…●



1年生  
福田逸併

僕は、今年で大名行列お奴に参加するのは六年目になりました。鉄砲から始まり、とうとう小羽熊をやることが出来ました。  
しかし、昨年やった立傘とは重さが全然違い、初めは全々持てなかったのが、練習に行ける日は必ず行っていました。そして本番では一度も失敗しませんでした。  
また来年もお奴に参加してがんばりたいです。



本番当日、参道を埋めつくした観客の前で演技を披露する生徒たち